

筑波大学新聞

第382号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会

TEL・FAX 029(853)6699
E-mail
shinbun@un.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

注目記事

- ウ避難学生 笠間市職員に
- 漫画「GO!!博士号」連載開始
- 古着の祭典「リリバレフェス」
- 運動部 新主将インタビュー
- 追跡「結」プロジェクト 第1回

特集

- 目指せ充実した学生生活
学修と暮らしの手引き 8・9
- つくばマップ2024
にぎわうキャンパス周辺
お気に入りのお店を発見しよう 6・7

ウ避難学生の支援継続

非正規生27人、大学院生6人

筑波大はウクライナからの避難学生への支援を今年度も継続する。昨年度は特別聴講生または研究生として42人が在学していたが、うち27人が非正規生として引き続き在籍する。また、6人は正規の留学生として4月から筑波大学院に進学。この他、帰国や就職などにより9人が筑波大を離れ、次のキャリアに向けて歩み始めた。

(青野心平物理学科2年、2面に関連記事)

筑波大は、ウクライナからの避難学生へ、他の留学生と大学に在学中あるいは修士課程以上を卒業・修了し、課程以上を卒業・修了し、学心の継続を希望する者を特別措置で受け入れている。月額5万円の生活費支給や学生宿舎の無償貸与、授業料免除、民間奨学金の支給などの対応をしている。今年度も非正規生として在籍を継続する学生には、筑波大学院への進学や日本での就職を希望する学生に引き続き、2面に関連記事

が一定数いた。

同支援チームは今年1月、各学生と改めて面談。大学院進学希望の学生には、入試日程や指導教員とのコンタクト方法などを助け、就職希望学生にはヒューマンエンパワメント推進局(BHE)が行う就職活動のガイダンスやイベントを紹介するなどして、

学生交流課の五十嵐千恵子課長は「筑波大や日本の環境を気に入ってくれた避難学生が多いと感じた。学内はもちろんだが、自治体や民間団体の協力がなければ学生を支える体制は整えられなかった。新年度以降も学生の自立的な進路選択を支援していきたい」と話した。

学食のCO₂排出見える化

「地球の健康」考えて

食事は地球の健康も考えよう。学食メニューにカーボンフットプリント(CFP)を表示し、温室効果ガスの排出量を「見える化」するプロジェクト

日	メニュー	CFP
2/26 月	1 昔ながらのナポリタン	1.342
	2 チキンオーバーライス	1.600
	3 カツカレー	2.117
	4 チキンストロガノフ	2.321
2/27 火	1 昔ながらのナポリタン	1.342
	2 チキンオーバーライス	1.600
	3 ホークソテーグレイビーソース	1.680
	4 カツカレー	2.117
2/28 水	1 昔ながらのナポリタン	1.342
	2 チキンオーバーライス	1.600
	3 カツカレー	2.117
	4 ハンバーグデミグラスソース	2.548

CFPが表示された定食のメニュー(2月27日、学生会館レストラン「筑波デミ」)

今回は、シダックスコントラクトフードサービス(本社・東京都渋谷区)の協力を得て、同社が運営する学生会館レストラン「筑波デミ」、医学食堂、1A棟食堂「TSUKUBA TABLE」のメニューを対象とした。また、CFPは一般社団法人サステナブル経営推進機構が算出した。

CFPが表示されたのは三つの食堂の日替わり定食32種類と定番定食10種類の計42種類。D.T.F.機構の学食チームがCFPの低いものから順に並べたランキング表を作成し、食堂のテーブルやメニューコーナード表示した。CFPとは、廃棄など商品・サービスのライフサイクル全体で排出される温室効果ガスを、二酸化炭素(CO₂)排出量に換算して表示する仕組みだ。

「CFPが参考になる」と話した。D.T.F.機構の西尾チツル機構長は「身近な食品のCFP表示が気候変動問題への気付きにつながってほしい。新年度も、多くの学生が食堂を利用する時期に実施したい」と話した。(川上真生) 4面に記者の声

卒業生に4年越し「入学式」

全代会 先輩に思い出贈る



入学式の立て看板前で記念撮影する出席者ら(3月13日、学生会館で)

コロナ禍で中止された「令和2年度筑波大学入学式」が3月13日に学生会館で開かれた。「先輩たちに思い出をプレゼントしたい」と全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議(全代会)が企画し、大学が共催した。同25日に卒業式を控えていた4年生264人が出席した。

の入学式と同様、筑波大学管弦楽団による演奏「凱旋行進曲」(ツェルディ作曲、歌劇「アイダ」より)で開式。永田恭介学長が「あらためて入学おめでとう。失われた入学式を取り戻し、先に進むためのけじめをつけることができると思う」と式辞を述べた。

また、全代会議長の林凛太郎さん(社工4年)は「先輩方は人とのつながりが完全に絶たれた1年目だったにもかかわらず、後輩のために新歓活動を精力的に実施してくれた。そのエネルギーは、私たちに大きな影

響を与えた。21年度以降の入学式を代表して感謝を伝えたい」とあいさつした。式典の最後は、筑波大のメッセージソング「IMAGINE THE FUTURE」を合奏で締めくくられた。会場の入り口には「令和2年度筑波大学入学式」と書かれた立て看板を設置。大学生活の思い出を胸に友人と笑顔で写真に収まった。「入学式」の姿もあつた。また、出席した学生には当時の筑波大学新聞(第355号)と全代会の広報誌「Campos」(第11号)が配布され、出席者は感慨深げに読み入っていた。

筑波大生向けの就職活動イベント「合同企業研究会Party」が3月1〜6日に学生会館で開かれ、延べ約600人が参加した。延べ約160社がブースを出展し、学生は気になる企業の仕事内容やキャリアパスなどを自由に聞いて回ることができた。留学生や障害学生の積極採用を掲げるなど、企業側も特色を打ち出していた。

学生が企業選びの参考となる情報を得られる場を提

学生会館で企業説明会

就活は大詰めへ

筑波大生向けの就職活動イベント「合同企業研究会Party」が3月1〜6日に学生会館で開かれ、延べ約600人が参加した。

延べ約160社がブースを出展し、学生は気になる企業の仕事内容やキャリアパスなどを自由に聞いて回ることができた。

留学生や障害学生の積極採用を掲げるなど、企業側も特色を打ち出していた。

学生が企業選びの参考となる情報を得られる場を提

北原元学長が死去

図情大との統合主導



北原元学長

筑波大の第6代学長を務めた北原保雄名誉教授(日

本語学・言語学)が2月22日、間質性肺炎のため千葉県柏市の病院で死去した。87歳。告別式は近親者のみで執り行われた。

1936年生まれ。新潟県柏崎市出身。60年東京教育大文学部卒。文学博士。東京都立学校教員などを経て74年に筑波大に着任。附属図書館長などを歴任

(同)、「全文訳古語辞典」(小学館)の編集を担当した。日本語の間違った用法を解説した編者「問題な日本語(大修館書店)はベストセラーになった。教子の大倉浩教授(人社系)は「逆引き辞典や全訳古語辞典を日本で初めて編纂するなど、アイデアも豊富な先生だった」と評した。(川上真生)

筑波お話し

能登半島地震が発生して3カ月。依然として多くの人が避難所での生活を余儀なくされている。13年前に東日本大震災を体験した者として、速やかな復旧、復興を願わずにはいられない。当時、私は6歳で宮城県に住んでいた。習い事に出かけようと玄関を出たところで、経験したことがない揺れに襲われた。屋根瓦が落ち、家具が倒れて食器が割れた。たまたま音が家の中から聞こえてきた。ただ、細かな記憶は飛んでいる。とても怖かったからなのかもしれない。▼電気や水道、ガスが止まった。その日の夜は、比較的被害が少なかった部屋にキャンプ用のランタンを出し、家族で囲んだ。死者・行方不明者は宮城県だけで1万人を超えた。自宅は内陸にあり、津波被害は免れたものの、母は親しい友を失った。▼震災直後はさまざまなものが不足した。水のストックは十分あり、近所の人にも分け合うことができた。一方で食料は足りず、開店前のスーパーに並んだ。幼いながらも「助け合い」と「備え」の大切さを学んだ。▼大学生になり、初めて宮城を離れた。全国各地からやってきた学生たちと話す中で、津波の脅威があまり理解されていないと感じる。昨年11月には大学で防災訓練が行われた。周囲には「訓練を知らなかった」という学生が多かった。本紙で「筑波大生のための災害対策特集を作る」という目標ができた。それが、自分なりの「震災の伝承」になると思っている。

ることがあれば気軽に相談してほしい。学生の人生の伴走者として、さまざまな支援をする話している。同イベントは昨年12月から今年6月にわたって開かれる。「筑波大学就職ガイダンス2023」の一環。5月13、14日には「合同企業研究会Party」が、6月11、14日には「インターンシップ研究会」が開かれる。就活関連の情報はBHEのホームページやオンライン会議システム「Teams」で配信している。(Teamsのチームコードは「waxsln」)(川上真生)

ウ避難学生 笠間市職員に

【一面参照】筑波大学文学類の特別聴講生として学んでいたウクライナからの避難学生、キジニヤク・ボダーナさんが4月1日付で茨城県笠間市役所の正職員(事務職グローバル枠)に採用された。同市は国際交流の促進や多様性を尊重する社会の実現を掲げており、キジニヤクさんにはこうした取り組みへの貢献が期待されている。キジニヤクさんは「2年前に日本に来て以来、さまざまな人たちに助けをいただいた。その恩返しをしたい」と話している。



笠間市職員に採用されたキジニヤクさん(昨年3月8日、本紙編集室で撮影)

「日本に恩返ししたい」

キジニヤクさんが筑波大に学びができてきたと知って来たのは2022年8月。ウクライナ避難学生の支援プログラムがあり、日本の大学の中でも高いレベルで学びができること知って筑波大を選んだという。子供の頃から宮崎駿監督のアニメ映画「もののけ姫」が好きで、ウクライナでは本財団の支援を得て県営アパート(つくば市春日)に居住。学費は免除された。人文学類でも日本語の勉強を続け、昔話を留学生仲間と日本語で演じたり、五七五の発句と七七七の脇句を複数の人が連なって読む連歌をしたりしたことが印象深いという。

キウ国立言語大で日本語を専攻していた。筑波大に来てからは、日本語の勉強を続けてきた。本財団の支援を得て県営アパート(つくば市春日)に居住。学費は免除された。

昨年秋、学生交流課の担当者らと面談した際に、日本の就職希望を伝えるたところ、笠間市がグローバル枠の職員を募集していることを紹介された。採用試験は昨年12月に実施され、今年1月に合格が決まった。ウクライナの首都、キウに住む家族とは連絡を取り合っているが、来日後は会えないまま。ロシアの侵襲から3年目を迎え、ミサイルが撃たれたというニュースを見る度に心を痛めている。母親からは、帰国せず、日本で働いてほしいと言われたという。キジニヤクさんは「詳しい仕事内容は分からないが、笠間市の国際交流に貢献したい。筑波大でこれからの学ぶウクライナの学生は、将来につながるためにも、勉強を頑張りたい」と話した。

また、笠間市の担当者は「まずは市のことをたくさん知ってほしい。そして、日本人も外国人も住みやすい社会を築くために貢献してほしい」と語った。



4コマ漫画連載開始



アベさんの自画像(本人提供)

漫画研究会代表のアベさん(比文3年)による4コマ漫画「Goo! 博士号」の連載が始まりました。掲載は計5回の予定です。「博士号」は第一エリアの松美池に浮かぶ白鳥の形をした足こぎボート。2013年10月、当時の筑美池に閉じ込められていた。アベさんは「10年近く松美池に閉じ込められていて、近付き過ぎて池に落ちないように」と話しています。(青野心平)

ViCC—映画をつくる会—

2024(同実行委員会主催)では、全国から応募があった10作品の中から最終選考10作品に残り、つぐは市長賞と学生に贈られるワコムチュー

ゼロから描く学生の物語

脚本から撮影、録音、編集までを全て自分たちで担当の同会の映画製作の特徴だ。作品は、筑波キャンパスやつくば市内で撮影したフィクションで、学生が主人公の物語を描いた。ViCCが制作した映画の撮影風景=同会提供



ViCCが制作した映画の撮影風景=同会提供

「ViCC—映画をつくる会—」が制作した短編映画「Month of Leaves」の一場面。カザフスタンから日本に来た女子留学生が、友人に支えられながら日本の生活に慣れ、いく姿を描いた作品だ。今年3月の「つくばショートムービーコンペティション」で賞状を授けられた。

中国でも人気を集めた日本のアニメソングのモデルとして、ハーモニカ独奏や春節にまつわる歌など、留学中に学んだ文化を表現した。春の訪れを祝う「新春交歓会」が1月27日、グローバルウェイレッジ・コミュニケーションステーションで開かれた。筑波大中国人留学生会友会の主催で、留学生ら約70人が会場を訪れ、春節の雰囲気を楽しんだ。交歓会は「ひとつのハートで」「扉を開けて」など

デント賞を同時受賞した。同会の代表を務める川崎さん(人文3年)は「二つの賞を受賞したのには驚きだった。脚本に大きな展開はない分、観客の集中力を保たせるため映像の美しさにこだわったので、評価されうれ

「文芸部を訪れる場面は演者のアドリブが入り、英語から日本語に会話に移る様子を自然に再現できた」と川崎さん。今後は「イタリア式本読み」という練習方法を取り入れるという。感情を入れずに台本を読み合わせ、本番で初めて感情を込めて演じる手法だ。川崎さんは「本番時に込み上げる感情をセリフに乗せることで、意図的でない、自然な演技ができるようになる」と狙いを話した。

同会に所属する菊池陽輝さん(社工3年)は「メンバーと話して、映画の技術や考察を深められるのが楽しい。これからもディープな映画の話をしたい」と話す。映画を作る会はこれからも工夫を凝らしながら、新しい学生の物語を紡いでいく。(青野心平) 物理系(2年)

新任人事

(4月1日付)

- 【副学長】産学連携担当 中内靖 医療担当 附属病院長 平松祐司
- 【大学執行役員】資産運用・ファイナンス担当 野手弘一 事業・リレーション担当 金保安則 地域医療担当 原泉
- 【系長】人文社会学系 山口恵里子 社会学系 山田一夫 生命環境系 中田和人 人間系 野呂文行 体育系 藤井航久 芸術系 田中佐代子 医学医療系 高橋智
- 【学術院・研究群長】人文社会学系 山田一夫 社会学系 山田一夫 生命環境系 中田和人 人間系 野呂文行 体育系 藤井航久 芸術系 田中佐代子 医学医療系 高橋智
- 【専攻長】(人文社会学系) 社会学 山田一夫 (生命環境系) 生命環境学 中田和人 (人間系) 人間学 野呂文行 (体育系) 体育学 藤井航久 (芸術系) 芸術学 田中佐代子 (医学医療系) 医学 高橋智
- 【学群長】(人文社会学系) 社会学 山田一夫 (生命環境系) 生命環境学 中田和人 (人間系) 人間学 野呂文行 (体育系) 体育学 藤井航久 (芸術系) 芸術学 田中佐代子 (医学医療系) 医学 高橋智
- 【学類長】(人文社会学系) 社会学 山田一夫 (生命環境系) 生命環境学 中田和人 (人間系) 人間学 野呂文行 (体育系) 体育学 藤井航久 (芸術系) 芸術学 田中佐代子 (医学医療系) 医学 高橋智
- 【研究施設長の長】(人文社会学系) 社会学 山田一夫 (生命環境系) 生命環境学 中田和人 (人間系) 人間学 野呂文行 (体育系) 体育学 藤井航久 (芸術系) 芸術学 田中佐代子 (医学医療系) 医学 高橋智

筑波大生が主催 古着の祭典 リリバレフェス 「多くの人に魅力届けたい」



古着屋 22店が集結し、にぎわう会場 (3月11日、つくばカピオで)

筑波大生による古着イベント「リリバレフェス」が、つくばカピオ(つくば市竹園)で3月11日に開かれた。全国から古着屋22店が出店。出店者がコーディネートした古着のファッションショーやアーティストによるライブ演奏も行われ、約6000人の来場者でにぎわった。(横山心咲)比較文化学類2年、写真も

イベントはつくば市内で「古着を届けたい」と最初に古着屋「リリバレ」を営業して最後フェスを企画した。イベント会場にはアメリカカンサス州やリメイク古着など幅広い系統の古着屋が出店し、来場者は思いに古着屋のブースを見て回り、店員とも相談しながら古着を探しを楽しんだ。埼玉県から来場した20代の女子学生は「一気にさまざまな古着屋を見て回れるのがうれしい」と話した。会場のメインステージでは並行してファッションショーが開かれた。出店した22店のうち18店がその日の商品で衣装をコーディネート。筑波大生ら46人の学生モデルが着用し、ランウェイを音楽に合わせて歩いて、店員とも相談しながら古着を探しを楽しんだ。埼玉県から来場した20代の女子学生は「一気にさまざまな古着屋を見て回れるのがうれしい」と話した。会場のメインステージでは並行してファッションショーが開かれた。出店した22店のうち18店がその日の商品で衣装をコーディネート。筑波大生ら46人の学生モデルが着用し、ランウェイを音楽に合わせて歩いて、店員とも相談しながら古着を探しを楽しんだ。

イベントを終えた岡本さんは「リリバレの服を褒められて自信が持てたというお客さんの声に励みになってきた。多くの来場者が楽しんでる姿を見て、古着にはパワーがあると改めて思った。開催してよかったと感慨深げに話した。

岡本さんは「リリバレの服を褒められて自信が持てたというお客さんの声に励みになってきた。多くの来場者が楽しんでる姿を見て、古着にはパワーがあると改めて思った。開催してよかったと感慨深げに話した。

加藤さんには肢体不自由の障害があり、リハビリの一環として日本舞踊や歌舞伎に親しむ中で、その奥深さを多くの人に伝えたいと



翁らへの敵対心をあらわにする瀧夜叉姫 (2月28日、春日講堂で)

「筑波大学かぶき会」が2月28日、春日講堂で初めの自主公演を開いた。演じられたのは筑波山が舞台の地歌舞伎と現代劇を融合した「新演歌舞伎 雙峰相筑波(ふたつみね あいのちくなみ)」。会場には約50人の観客が集まり、歌舞伎の雰囲気を楽しんだ。

初めて歌舞伎を鑑賞したという女子学生(比文4年)は「歌舞伎ならではの発声力や面白さが伝えられたと感じる。今後も活動に励みたい」と語った。

有志学生 歌舞伎自主公演 筑波山舞台の地歌舞伎を基に

「筑波大学かぶき会」が2月28日、春日講堂で初めの自主公演を開いた。演じられたのは筑波山が舞台の地歌舞伎と現代劇を融合した「新演歌舞伎 雙峰相筑波(ふたつみね あいのちくなみ)」。会場には約50人の観客が集まり、歌舞伎の雰囲気を楽しんだ。

加藤さんには肢体不自由の障害があり、リハビリの一環として日本舞踊や歌舞伎に親しむ中で、その奥深さを多くの人に伝えたいと

加藤さんには肢体不自由の障害があり、リハビリの一環として日本舞踊や歌舞伎に親しむ中で、その奥深さを多くの人に伝えたいと

加藤さんには肢体不自由の障害があり、リハビリの一環として日本舞踊や歌舞伎に親しむ中で、その奥深さを多くの人に伝えたいと

大学生生活の結晶 2000点 5000人が来場 卒修展



浜野さんの作品「TOOLS OF EATING 哺乳類の歯」(2月28日、つくば美術館で)

筑波大の「令和5年度芸術専門学群卒業制作展」が、つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。卒業生93人、修了生39人が学生生活の集大成となる「修了制作展」が2月6日

4期に分けて出展し、延べ約5000人が訪れた。総括代表を務めた宮川高広さん(令和5年度芸術専門学群卒)は「出展者全員で協力し、作品の搬入や陳列などを行った。同じ会期中でも『また見たくなかった』と何度も来場してくれる来場者がいてうれしかった」と笑顔で振り返った。

2月27日～3月3日の修了展後期日程では、工芸領域やビジュアルデザイン領域に所属する修了生18人の作品が展示された。ビジュアルデザイン領域の浜野那緒さん(令和5年度芸術学学位プログラム修了)は「TOOLS OF

「TOOLS OF EATING 哺乳類の歯」と題した作品を展示した。浜野さんは、何を主要な餌にするかで哺乳類の歯の形態が異なることに注目。哺乳類14種の特徴的な歯をモチーフにデザインした「フォーク」を3Dプリンターで制作した。

「フォーク」という身近な食器を通して動物とのつながりを感じてほしい」と語った。(横山心咲、写真も)

「フォーク」という身近な食器を通して動物とのつながりを感じてほしい」と語った。(横山心咲、写真も)

「フォーク」という身近な食器を通して動物とのつながりを感じてほしい」と語った。(横山心咲、写真も)

「フォーク」という身近な食器を通して動物とのつながりを感じてほしい」と語った。(横山心咲、写真も)

「フォーク」という身近な食器を通して動物とのつながりを感じてほしい」と語った。(横山心咲、写真も)

「フォーク」という身近な食器を通して動物とのつながりを感じてほしい」と語った。(横山心咲、写真も)

「フォーク」という身近な食器を通して動物とのつながりを感じてほしい」と語った。(横山心咲、写真も)

「フォーク」という身近な食器を通して動物とのつながりを感じてほしい」と語った。(横山心咲、写真も)

「フォーク」という身近な食器を通して動物とのつながりを感じてほしい」と語った。(横山心咲、写真も)

「フォーク」という身近な食器を通して動物とのつながりを感じてほしい」と語った。(横山心咲、写真も)

「フォーク」という身近な食器を通して動物とのつながりを感じてほしい」と語った。(横山心咲、写真も)

「フォーク」という身近な食器を通して動物とのつながりを感じてほしい」と語った。(横山心咲、写真も)

「フォーク」という身近な食器を通して動物とのつながりを感じてほしい」と語った。(横山心咲、写真も)



2022年4月2日、つくば市玉取

「つくば現代短歌会」短歌同人「菜」に所属する東風えまのさんが、つくば市内を散策して短歌を詠みます。

春は全ての始まりである。入学式間近になると筑波大構内では、赤い桜が開き、すぐに満開となる。散る花は、新しい風になっていく。新入生を吹き抜けるやわらかな風は、きつと、追い風だ。

「つくば現代短歌会」短歌同人「菜」に所属する東風えまのさんが、つくば市内を散策して短歌を詠みます。

「つくば現代短歌会」短歌同人「菜」に所属する東風えまのさんが、つくば市内を散策して短歌を詠みます。

「つくば現代短歌会」短歌同人「菜」に所属する東風えまのさんが、つくば市内を散策して短歌を詠みます。

「つくば現代短歌会」短歌同人「菜」に所属する東風えまのさんが、つくば市内を散策して短歌を詠みます。

「つくば現代短歌会」短歌同人「菜」に所属する東風えまのさんが、つくば市内を散策して短歌を詠みます。

「つくば現代短歌会」短歌同人「菜」に所属する東風えまのさんが、つくば市内を散策して短歌を詠みます。

「つくば現代短歌会」短歌同人「菜」に所属する東風えまのさんが、つくば市内を散策して短歌を詠みます。

「つくば現代短歌会」短歌同人「菜」に所属する東風えまのさんが、つくば市内を散策して短歌を詠みます。

「つくば現代短歌会」短歌同人「菜」に所属する東風えまのさんが、つくば市内を散策して短歌を詠みます。

「つくば現代短歌会」短歌同人「菜」に所属する東風えまのさんが、つくば市内を散策して短歌を詠みます。

「つくば現代短歌会」短歌同人「菜」に所属する東風えまのさんが、つくば市内を散策して短歌を詠みます。

「つくば現代短歌会」短歌同人「菜」に所属する東風えまのさんが、つくば市内を散策して短歌を詠みます。

「つくば現代短歌会」短歌同人「菜」に所属する東風えまのさんが、つくば市内を散策して短歌を詠みます。



菊池彰 教授 (植物生理学)

生命環境系・教授。筑波大学大学院生物科学研究科修了。博士(理学)。農林水産省系機関の博士研究員や文部科学省系機関の博士研究員を経て2004年に筑波大講師となり、16年より現職。

生命環境系・教授。筑波大学大学院生物科学研究科修了。博士(理学)。農林水産省系機関の博士研究員や文部科学省系機関の博士研究員を経て2004年に筑波大講師となり、16年より現職。

生命環境系・教授。筑波大学大学院生物科学研究科修了。博士(理学)。農林水産省系機関の博士研究員や文部科学省系機関の博士研究員を経て2004年に筑波大講師となり、16年より現職。

生命環境系・教授。筑波大学大学院生物科学研究科修了。博士(理学)。農林水産省系機関の博士研究員や文部科学省系機関の博士研究員を経て2004年に筑波大講師となり、16年より現職。

生命環境系・教授。筑波大学大学院生物科学研究科修了。博士(理学)。農林水産省系機関の博士研究員や文部科学省系機関の博士研究員を経て2004年に筑波大講師となり、16年より現職。

生命環境系・教授。筑波大学大学院生物科学研究科修了。博士(理学)。農林水産省系機関の博士研究員や文部科学省系機関の博士研究員を経て2004年に筑波大講師となり、16年より現職。

生命環境系・教授。筑波大学大学院生物科学研究科修了。博士(理学)。農林水産省系機関の博士研究員や文部科学省系機関の博士研究員を経て2004年に筑波大講師となり、16年より現職。

生命環境系・教授。筑波大学大学院生物科学研究科修了。博士(理学)。農林水産省系機関の博士研究員や文部科学省系機関の博士研究員を経て2004年に筑波大講師となり、16年より現職。

生命環境系・教授。筑波大学大学院生物科学研究科修了。博士(理学)。農林水産省系機関の博士研究員や文部科学省系機関の博士研究員を経て2004年に筑波大講師となり、16年より現職。

NHK 「no art,no life」で放映された自然生クラブの芸術家たちの作品展
2024年5月1日(水)～5月6日(月)10:00～16:00
つくば市桜が丘15-4
ホームページ: https://www.tsukuba-art.com
メール: info@tsukuba-art.com
〇貸しギャラリー 6日間 3万円
お問い合わせ 029-876-0080・090-9972-2981 (佐々木)

記者の声



川上真生

若者の気づきが世界動かす 身近な行動を積み重ねよう

【一面参照】本紙「第379号」で掲載した安楽死特集取材で昨年8月、オランダを訪れ、ビーガン料理を提供するレストランが多いことに気がついた。アルバイト先のそば店(〆)は市内でも、外国人から「ビーガンはあるか」とよく聞かれる。動物愛護や健康志向が理由だと思っていたが、学食メニューにカーボンフットプリント(CFP)を表示する「DESIGN THE FUTURE」機構(DTFCFP)が最も低かった「菜の花」が目を引いた。

定は、地球の平均気温の上昇を産業革命前比+1.5度に抑えることを目標としている。だが、世界の温室効果ガス排出量は減っていない。世界気象機関(WMO)によれば、昨年の地球の平均気温は観測史上最高で、産業革命前比+1.48度高かった。国連のグテレス事務総長は「地球沸騰の時代がやってきた」と警告する。その影響をより大きく受けるのは、大人世代よりも私たち若者であり、その子もまた。待ったなしの対策強化が求められる。学生チームの一員として表示企画に携わったベリッツ亜里

では見えない、CO₂排出を見える化してくれる。DTFCFP機構は今年度も学生チームと一緒にCFP表示企画を実施する計画だ。将来的には半分の学食でCFPを常時表示してはどうか。

【生物P前期2年・女性】 SNSを通じて初めて「マルハラ」という言葉を聞いた。自分にはSNSの文章を写す必要はないが、句点の位置が気になった。以前から文法や文意のつながりに気をつけているが、句点の位置が気になった。以前から文法や文意のつながりに気をつけているが、句点の位置が気になった。

【生物P前期2年・女性】 目の人とメールでやり取りする機会が多く、句点があるかどうかが気になる。メールを送るときは、句点があるかどうかが気になる。メールを送るときは、句点があるかどうかが気になる。

【知機P後期1年・男性】 一文で終わる文章は区切りが必要がなく、句点をつけていない。メールなど比較的文脈のある文章を送る傾向がある。年配の方が、短文にも句点を使うことを、世代間の差が生まれているのではないかと感じる。

【心理P前期1年・男性】 LINEとX(旧ツイッター)を利用して、句点があっても威圧感はない。自分は文末の句点と感嘆符を相手との関係性に合わせて使い分けている。

筑波時評

2024年2月22日は、日経平均株価が1989年12月29日の水準を上回り、約34年ぶりに史上最高値を更新する歴史的な日となった。「歴史は繰り返す。一度目は悲劇、二度目は喜劇として」という名言があるが、今回はどうであろうか。

この時期の日本企業は、雇用・設備・債務の「三つの過剰」の解消を課題とした。雇用面では、正社員のスリム化と非正社員の

の機会を奪ってきた。さらにITやDX(デジタルトランスフォーメーション)を進めるための積極投資が重要な時代に、そうした投資すら慎重で遅れをとったことは、日本の国際競争力を低下させ、「安い円」の要因となっているとみることもできる。

同時に企業利益を内部にため込むことでのスタンスを転換し、買上げを推進して労働側への分配を高める必要がある。またITやDXなどの技術革新や生産性向上に向けた投資を積極的に進め、買上げと競争力向上の「二兎を追う」ことも「安い日本」から脱却するうえで重要課題といえる。

さらに近年、新型コロナや紛争の激化によりサプライチェーンが寸断される事態が生じるなかで、従来のグローバル化一辺倒の動きに変化がみられる点に注目する必要がある。世界のさまざまな変動に対して、打たれ強くなかなる日本経済を構築するうえで、ローカルに配慮した投資や人材の活用も重要となってくるであろう。

【医療2年・男性】 総合学域群の第1類に入学したが、自分は理系志望だった。周囲は文系志望が多かった。その結果、友人に科目選択の相談ができなかった。友人は「理系P前期1年・女性」

【人文2年・女性】 初回の授業で、教室の建物があるか分からず、迷子になった。建物を探し回り、何とか授業には間に合ったが、筑波大はキャンパスが広く、教室の場所が覚えられない。授業の課題や期末試験に時間をかけられなくなった。現在は、学業をおろそかにしないことを優先し、サークルを二つに絞った。

「失われた30年」克服できるか 「安い日本」からの脱却が鍵

増大が進められた。人件費を固定費から変動費に変え、総額人件費の抑制が重視され、労働分

の一連の行動が、今日の「安い日本」につながる要因となっている点である。直近(2022年)と1989年を比べた場合、日本企業の純利益は約4倍に達したが、平均給与は10%程度の増大にとどまり、最近に至っては実質賃金が減少する「安い賃金」状況にある。

日経平均株価がバブル絶頂期の水準を超えたとはいえ、その動向は予測を許さない。これを画期として今後は「安い日本」の構造を改革し、低迷期を本格的に脱し得るかが鍵となる。

【心理P前期2年・無回答】 一の矢宿舎に住んでいた。鍵をかけたまま、前から盗まれた。やはり鍵をかけたまま、前から盗まれた。

【和合5年度比較文化学類卒・男性】 入学直後、「キャンパスに近しい」からと不動産屋に勧められた春日4丁目のア

【知機P後期1年・男性】 一文で終わる文章は区切りが必要がなく、句点をつけていない。メールなど比較的文脈のある文章を送る傾向がある。年配の方が、短文にも句点を使うことを、世代間の差が生まれているのではないかと感じる。

【心理P前期1年・男性】 LINEとX(旧ツイッター)を利用して、句点があっても威圧感はない。自分は文末の句点と感嘆符を相手との関係性に合わせて使い分けている。

平沢照雄 教授

(現代日本経済史・地域経済論)



人文社会学系・教授。博士(経済学)。知大人文学部助教授、筑波大学院人文社会学系研究科教授などを経て現職。

また非正規の増大は、コスト削減の一方で人々のスキル獲得

の面から変動費と捉え、その抑制にまい進するスタンスを見直し、むしろ「競争力の源泉」と捉え、リスキングを含めた人

今回の株高を「一時的な喜劇」に終わらせず、日本経済の再生へと向かうことが期待される。(2024年3月5日寄稿)

反射鏡

「マルハラ」どう思う

【マルハラ(マルハラスメント)】が話題だ。無料通信アプリLINEやSNS(ネット交流サービス)で中高年が文末に「。」を付けて送ると、受け取った若者は恐怖や威圧感を抱くという。筑波大生はどう感じているのか。第二、三エリアなどで聞いた。(横山心平 比較文化学類2年、川上真生 社会学類3年、加藤緑 生物学類3年、吉川柊 工学システム学類2年)

【生物P前期2年・女性】 SNSを通じて初めて「マルハラ」という言葉を聞いた。自分にはSNSの文章を写す必要はないが、句点の位置が気になった。以前から文法や文意のつながりに気をつけているが、句点の位置が気になった。

【地球3年・男性】 LINEなどは短文を送る必要はないが、句点の位置が気になった。以前から文法や文意のつながりに気をつけているが、句点の位置が気になった。

【和合5年度人文社会学位プログラム修了・女性】 句点に威圧感を抱くかどうかは、文章量によるのではないかと感じる。サークルでの話し合いなどで長文のやり取りをする時は、文中に句点があっても何も感じない。一方で、「ありがとう」などワンフレーズに句点があるのは、違和感を持ってしま

【心理P前期2年・無回答】 一の矢宿舎に住んでいた。鍵をかけたまま、前から盗まれた。やはり鍵をかけたまま、前から盗まれた。

入学して最初の失敗

【医療2年・男性】 総合学域群の第1類に入学したが、自分は理系志望だった。周囲は文系志望が多かった。その結果、友人に科目選択の相談ができなかった。友人は「理系P前期1年・女性」

【心理P前期2年・無回答】 一の矢宿舎に住んでいた。鍵をかけたまま、前から盗まれた。やはり鍵をかけたまま、前から盗まれた。

【和合5年度比較文化学類卒・男性】 入学直後、「キャンパスに近しい」からと不動産屋に勧められた春日4丁目のア

【知機P後期1年・男性】 一文で終わる文章は区切りが必要がなく、句点をつけていない。メールなど比較的文脈のある文章を送る傾向がある。年配の方が、短文にも句点を使うことを、世代間の差が生まれているのではないかと感じる。

【心理P前期1年・男性】 LINEとX(旧ツイッター)を利用して、句点があっても威圧感はない。自分は文末の句点と感嘆符を相手との関係性に合わせて使い分けている。



イラスト=結城希(国際総合学類2年)

(1) 2023年(令和5年)9月25日(月) 筑波大学新聞 第378号

森
(休職2年)
スポーツクライミング複合で
パリ五輪内定第1号

「固定化した社会を変革する」
永田学長インタビュー



本紙の増刊インタビューを受ける永田学長
(8月2日、本部棟で) 修其志撮影

筑波大学新聞
第378号
編集責任 筑波大学新聞編集委員会
TEL-FAX 029(853)6699
shinbun@un.tokuba.ac.jp
発行所 筑波大学
〒305-8565 茨城県つくば市美空1-1-1

注目記事
学生連
ボケモ、
鶴澤世界
世界水泳A

世界の潮流に息づく
開学一周年を迎えて学長・三輪知雄

あらゆる方面に
開かれた大学をめざす




16面 30年までに外国留学生を1000人目指す
筑波大、グローバル化の取り組み

15面 スポーツ科学「研究」「実践」の最前線
▽菅原浩二▽安藤助教授
▽川村卓准教授▽佐々木昭昭教授
project@akumun.tokuba.ac.jp

14面 スポーツ界をけん引する卒業生 座談会
▽田嶋幸三氏▽三原裕子氏▽尾藤貞教授
▽山崎浩二氏

13面 筑波大を支えた店主ら 座談会
▽CLARET▽井上サトル▽吉野屋MPH
▽平野国典さん▽中島光夫さん▽原啓一さん

12面 「つくばマップ」42年の歴史
写真と年表で振り返る筑波大50年の歩み

11面 写真と年表で振り返る筑波大50年の歩み

10面 写真と年表で振り返る筑波大50年の歩み

9面 筑波大の教員組織「系」の全貌に迫る
つくばハピオライフ研究

7面 「学際性」を支えられる筑波大の研究
「失敗は成功の元」白川英樹名誉教授に聞く

6面 読者の声 学生が作る
「筑波時評」改革「求め続けた」
中野目敏教授
「対談」同窓生投稿「筑波大の思い出」

5面 永田学長インタビュー
未来をへん

4面 読者の声 学生が作る
「筑波時評」改革「求め続けた」
中野目敏教授
「対談」同窓生投稿「筑波大の思い出」

50周年
未来をへん

読者の声 学生が作る
「筑波時評」改革「求め続けた」
中野目敏教授
「対談」同窓生投稿「筑波大の思い出」

創刊の輝き 鈴木博樹

既成の概念から

創刊号の内容

「研究環境は米国以上」
大学で金見 本学での思い出語

ノーベル化学賞

「研究環境は米国以上」
大学で金見 本学での思い出語

ノーベル化学賞

創刊50th
大学の「今」を伝え続け
筑波大学新聞
新人記者募集

9月30日と10月1日
記念式典・イベント
白川英樹名誉教授が講演
卒業生ら相次ぎ登場

走りだした学内ノ

内移動は

拠点大学方式
北京大と学术交流を開始

18大学がプ

全日本の活躍に寄

筑波大学新聞

木学勢、メダル

ナンバー学群を廃止

東日本大震災
本学でも震度6弱を記録

75分授業は変えず

1年を6つの区分に

26年ぶり箱根

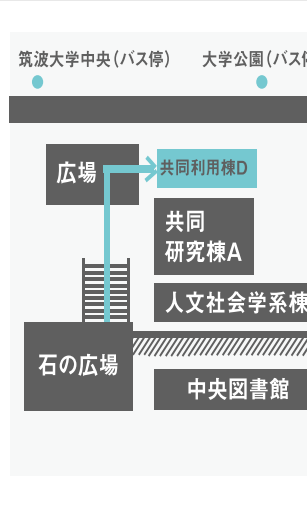
国際的な広

Instagram

山海教授の「H

被害は少なくとも

卒業式中止は開学



内容は決まったら、いざ取材。下調べをして質問事項を出し合います。学生スポーツや研究成果はもちろん、キャンパスライフで疑問に感じたことなど、そのジャンルを問いません。ぜひ、編集部にお越しください。

過去、現在、未来へと変化していく筑波大を一緒に追いかけてみませんか。そこには、大学新聞ならではの体験が待っています。ぜひ、編集部にお越しください。

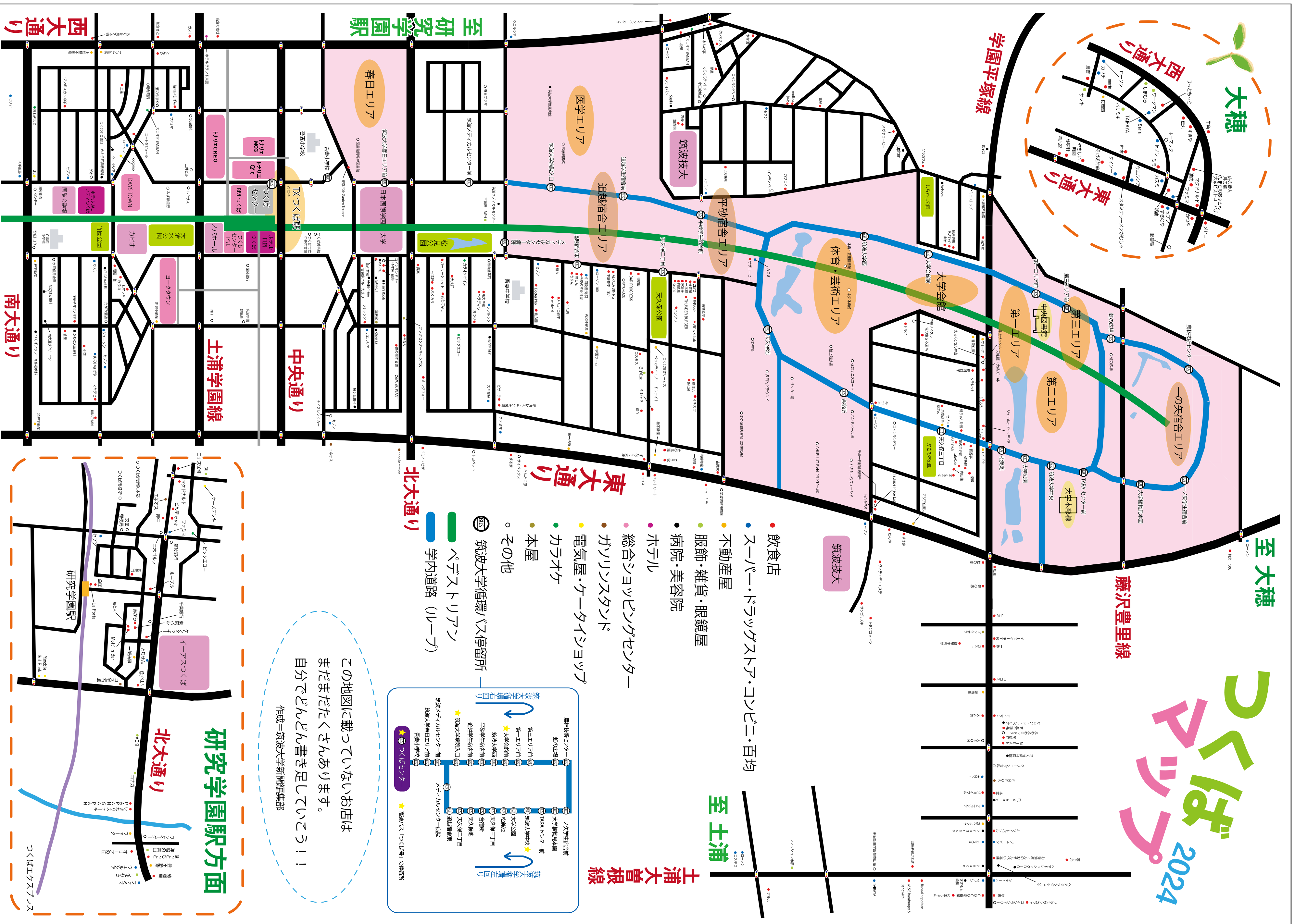
名刺一枚 誰にでも会える

筑波大学新聞は大学の「今」を伝え続け、今年10月で創刊50周年を迎えます。そして、いよいよ記事の執筆。「50th」を盛り込みながら、分かりやすく興味深い内容にすることを目指します。初めはうまく書けなくても大丈夫。先輩たちが添削してくれますし、元新聞記者の編集代表も確認してくれます。

出来上がった記事は、パソコンを使ってページごとにレイアウトします。記事に添えるイラストなども、紙面を引き立てる大切な要素になります。固有な名刺や数字などに誤りはないか。確認作業も欠かせません。

そうして出来上がった紙面。「面白かった」「書いてくれてありがとう」。時に寄せられる読者からの反響が励みになります。

過去、現在、未来へと変化していく筑波大を一緒に追いかけてみませんか。そこには、大学新聞ならではの体験が待っています。ぜひ、編集部にお越しください。



- 飲食店
- スーパー・ドラッグストア・コンビニ・百貨
- 不動産屋
- 服飾・雑貨・眼鏡屋
- 病院・美容院
- ホテル
- 総合ショッピングセンター
- ガリンスタンド
- 電気屋・カータイシヨツタ
- カラオケ
- 本屋
- その他



この地図に載っていないお店は
 まだまだたくさんあります。
 自分でどんどん書き足していこう!!
 作成=筑波大学新聞編集部

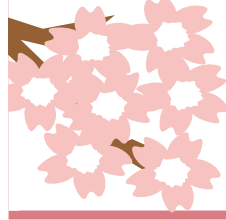
研究学園駅方面



つくばマップ 2024

目指せ充実した学生生活

学修と暮らしの手引き

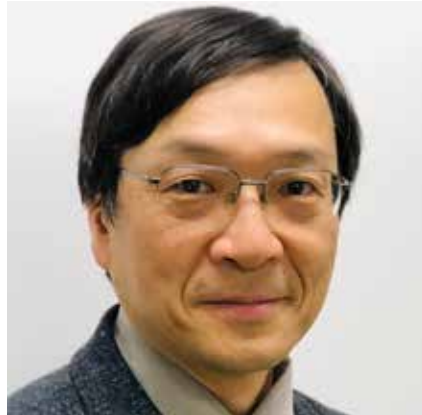


春。希望を胸に、新入生がキャンパスに姿を表す。だが、大学での学びやキャンパスライフは、高校時代とは大きく異なる。時に戸惑い、悩むのも当然だ。どうすれば、充実した学生生活を送れるのか。学修やサークル活動、日々の健康維持まで、教職員や在学生にアドバイスを寄せてもらった。

(横山心咲比較文化学類 川上真生社会学類、青野心平物理学類)

学修にどう取り組むか

坪内孝司教授



先端教学推進機構長
坪内孝司教授 (シス情系)

数、三角関数の加法定理
直角三角形、斜辺、正方形
の面積、ユークリッド距離
の定理、釣股弦の法、
離、ピタゴラス数、フェル
マの最終定理、距離と面

積、相似、幾何学、ひも
物差しで直角を出す、直交
とは？ 幾何ベクトル、内
積……」

頭書から数学用語の羅列
で申し訳ありません。先頭
の「三平方の定理」に関連
する語句や、さらにそれら
に導かれる語句を連ねてみ
ました。ある一つの語句に
関連する語句を想起するこ
との繰り返しです。冒頭に
このような例を挙げたのも、
こうしてしりとりのような
遊びができることを示
したかったからです。「あ
る語句をお題にして、そこ
から関連が説明できる語句
をいくつ想起できるか？」
を競うような遊びです。お

題は一は、日々接する時話
題の「物価高」「メタバ二
動運転車」など、どんな
な語句でもいいでしょう。
このようにして、あ
る語句の意味概念が別
の語句を導き、それが
「連鎖」となって知識
の網が形成されるのだ
と、私にはある時ふと
意識されたのです。こ
こではこれを「知識の
連鎖」と呼んでおしま
いましょう。

学問の営みは、この
知識の連鎖を自分の中
にどれだけ密度濃く、
かつどれだけ広範囲に
発展的に広げおける
かがとても大事である
ことに気がきました。

健康な生活を目指して

運動栄養学が専門



麻見直美教授
(体育系)

「ちゃんと食べていますか？」「食」は全ての基盤になります。「You are what you eat!」

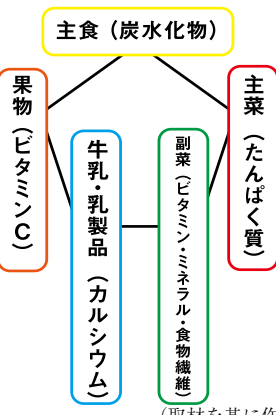
このフレーズもぜひ心に留めてください。あなたはあなたが食べたものでできています。食があなたの体を支えています。心も思考も支えています。だから、食べることに

「ちゃんと食べていますか？」という問いかけは、適切な体重を維持できるように食べる量を自分の意志で調整します。次に、質を整えるコツは運動栄養学研究室考案の「パーフェクト栄養型の食事」です。主食、主菜、副菜、牛乳・乳製品、果物を毎回の食事で摂る。できるだけ、少なくとも1日3回の食事を通してそろえて食べる。朝、食べられなかつたものを、夜、食べられなかつたものを、追加して、昨日食べられなかつたものを今日追加して食べましょう。もちろん、頑張った時に好物を食べることもお祝いし、楽しむことも大切です。

めには、さまざまな栄養素を過不足なく摂ることが必要です。運動をして、消費する栄養素の量を増やしましょう！そしてその消費した分を、「パーフェクト栄養型の食事」を意識して摂りましょう。豊かな骨を導く健康的な体を自分のものにしてください。

食のスキルは一生の宝になります。大学生活を通して自分の力にしてください。

パーフェクト栄養型の食事



(取材を基に作成)

知識の連鎖を大切に

この連鎖は、学問をするには極めて重要です。個別の知識の単なる暗記ではなく、ある知識とその知識がなぜつながるのか、も常に理解しておくことが、この連鎖を自身の中に構築し、生かすことができるようになるために必要です。理工系の皆さんなら教科書を読む時、ある証明の結論や問題の解答方法だけでなく、その前提になった知識やその知識がさらに導く新たな知識も追いかけて、それをつないで記憶する必要があるでしょう。さまざまな経験もその連鎖の中に織り込まれます。

この連鎖は文理を問わず学問領域の垣根を越え、時空も超えて広がるものだと思えます。知識の連鎖を自身の中にたゆまず築くことが、さらに新たな知を導く源となるでしょう。このよう努力が、創造ある知識がなぜつながるのか、も常に理解しておくことが、この連鎖を自身の中に構築し、生かすことができるようになるために必要です。理工系の皆さんなら教科書を読む時、ある証明の結論や問題の解答方法だけでなく、その前提になった知識やその知識がさらに導く新たな知識も追いかけて、それをつないで記憶する必要があるでしょう。さまざまな経験もその連鎖の中に織り込まれます。

高校と大学の違いの一つは、教師と生徒・学生の関係性です。高校まではその間に上下関係があります。教師が問題や勉強方法の正解を知っているの、生徒一人となり、大学では先生と学生の関係性は対等になります。

また、大学では友人との関係性も変化します。高校までの同級生はテストの点数の競争相手だったかもしれませんが、大学では共に研究していく仲間なので、そこで大切なことは間違いないを恐れないこと。誰も知らない正解を探るために仮説を立てて考えることが必要ですが、間違いを恐れると研究にはなりません。間違えたくないという思いは捨て、ぜひ自分の意見や考えを周りに伝えてみてください。

筑波大は学問領域の多様な特徴ですが、筑波大で本気の学問を生み出すためには、学生の皆さんが自ら研究を育むための必要だと認識されています。その中で、文系の学生には物事を多面的に捉え、目的を実現する手段を一つに絞るという考え方も必要です。現代は先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代です。その中で特に求められる能力は失敗を恐れず、「勇敢さ」なのです。自分の意見を伝える時はもちろん、どんな時もまずは一歩踏み出してみてください。(聞き手・横山心咲 写真は本人提供)

食が支える心と思考

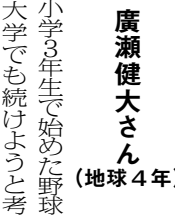
「ちゃんと食べていますか？」という問いかけは、適切な体重を維持できるように食べる量を自分の意志で調整します。次に、質を整えるコツは運動栄養学研究室考案の「パーフェクト栄養型の食事」です。主食、主菜、副菜、牛乳・乳製品、果物を毎回の食事で摂る。できるだけ、少なくとも1日3回の食事を通してそろえて食べる。朝、食べられなかつたものを、夜、食べられなかつたものを、追加して、昨日食べられなかつたものを今日追加して食べましょう。もちろん、頑張った時に好物を食べることもお祝いし、楽しむことも大切です。

めには、さまざまな栄養素を過不足なく摂ることが必要です。運動をして、消費する栄養素の量を増やしましょう！そしてその消費した分を、「パーフェクト栄養型の食事」を意識して摂りましょう。豊かな骨を導く健康的な体を自分のものにしてください。

食のスキルは一生の宝になります。大学生活を通して自分の力にしてください。

課外活動の楽しみ方

体育会第48期委員長



廣瀬健太さん
(地球4年)

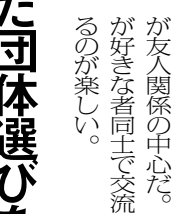
小学3年生で始めた野球を大学でも続けようと考えて、硬式野球部に入った。

所属する学生ばかりで距離感があったが、出身地が同じ部員とまず仲良くなり、部にも打ち解けられた。今は学業よりも硬式野球部が友人関係の中心だ。野球が好きで同じ部員と交流できるのが楽しい。

体育会には部活動から同好会まで、さまざまなレベルの団体が所属する。体育以外の学生でも、高いレベルを目指して部活動に入ることもできるし、競技を楽しむことを中心にすることもできる。自分の目的やレベルに合った団体を見つけよう。(聞き手・川上真生)

自分に合った団体選びを

芸術系サークル連合会



津久井莉子さん
(生物3年)

中学で始めたマンドリンを続けようというキター・マン ドリン部に入った。高校では数千人規模の演奏が多かったが、今は少人数で演奏している。

サークル以外でも茨城県牛久市で活動するマンドリンオーケストラの社会人団体に入っている。幅広い年代の人が参加しており、仕事や子育ての話などサークル活動で話さない話題が周りにあふれている。(聞き手・青野心平)

学類越えた関係築き

2年間筑波大で過ごして、自分に合ったサークルを見つけてほしい。(聞き手・青野心平)

活動後に一緒に食事をしたり、休日に旅行に出かけたりして、関係がより深まっていく。サークルには「新歓Web」には、筑波大の学生団体が掲載されている。また、SNS(ネット交流サービス)でも、サークルの情報が集められる。これらを手早く活用して、自分に合ったサークルを見つけよう。

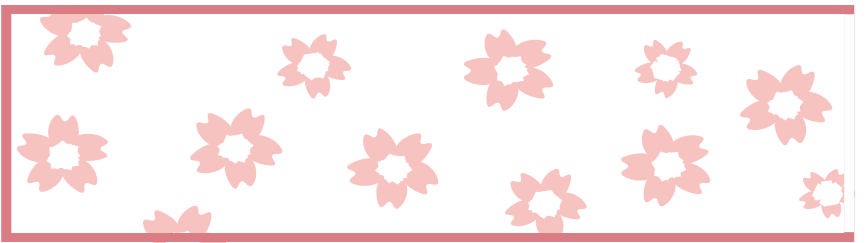
決めます。自由に思考する「ラテラルシンキング」を大事にしてほしいです。ラテラルシンキングをするための履修のポイントには、授業を詰め込まないこと。自分の頭に入ってくる情報量と、自分で考えを周りに伝えることで頭から出す情報量が半分ずつになると良いです。授業を詰め込みすぎると、入ってくる情報だけで疲れてしまいます。履修計画は余裕を持って立てるようにしましょう。

新しいこと始めよう

高校までして、たかたか大学で続けるのもいいが、大学生は新しいことを始めるラストチャンスかもしれない。新入生には、できるだけ多くのサークルを見て回ってほしい。(聞き手・青野心平)



新歓祭で各団体のポスターを見る学生ら(昨年4月8日、第一エリアで) = 加藤緑撮影



困り事の相談先は

学修なら

附属図書館へ

学修に困ったら、附属図書館の学生サポートデスク



中央図書館2階の「2」と書かれた柱がサポートデスクの目印だ(3月22日、中央図書館で) = 青野心平撮影

を務めており、レポートの書き方や、目指す研究分野にかかった履修の仕方などを相談できる。L.A.の齋藤祥太さん(応理P前期2年)は「自分の生サポートデスクでは筑波大の大学院生9人がラーニングアドバイザー(L.A.)の生活で困っていることについて相談に乗ることもあ

える「ライティング支援セミナー」なども随時開催されており、概要は附属図書館のウェブページ(<https://www.tulips-tsukuba.ac.jp/>)で見ることが出来る。

何でも対応

総合相談窓口

困った学生が「何でも」相談できるのが、1D棟と他、父母からの問い合わせ



STUDENT PLAZAの横が1D棟だ(3月27日、第一エリアで) = 青野心平撮影

7B棟にある総合相談窓口(予約不要)だ。「事故や事件に巻き込まれた」「授業についていけない」など学生からの生活、学修相談の相談に乗ってくれる。

総合相談窓口も学生相談室も公認心理師や臨床心理士、大学カウンセラーなどの資格を持つ教職員が対応する。学生生活課の担当者は「相談先にも迷った時は気軽に相談窓口や学生相談室を利用し、充実した学生生活を送ってほしい」と語る。また、新入生に配られる冊子「セーフティライフ」には、さまざまな情報が載る「セーフティライフ」(3月22日、本紙編集室で) = 青野心平撮影

訂正

第381号7面「Hello! 先端研究」で「水分子は酸素原子二つと水素原子一つでできている」とあるのは「水分子は酸素原子二つと水素原子二つでできている」の誤りでした。訂正します。

大学院生の経験を参考に

図書館の職員やデータベース提供元の講師が利用法を解説する講習会やレポートの書き方を教員が

を使った同様の研究も計画中で、「飲酒量を減らす身近な方法として、さまざまなものを提案してい

Hello! 先端研究



吉本尚准教授

20歳を迎える若者にとって、酒の上手な付き合い方を考える上で有益な情報と言えなくも

吉本尚准教授(医学医療系)と土橋祥平助教(体育系)らは、飲酒量が多めの人にノンアルコール飲料(アルコールテイスト飲料)を提供する実験を実施した。すると参加者の飲酒量が減少した。

また、参加者を男女別に分析した結果、飲酒の

平均減少率に性差はなかったが、男性では飲酒日の飲酒量が減少し、女性では飲酒頻度が減少することが分かった。

以上、女性は20歳以上の人を対象にした。この量を毎日飲むと、男女ともに厚生労働省の「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」で生活習慣病のリスクが高まる量になる。なお、純アルコール20gは、日本酒1合ま

純アルコール量で1日平均11.5g減った。一方でノンアルコール飲料を1日平均で約31.4g飲むようになった。提供をやめた8週間後も飲酒量減少は続いていた。

純アルコール量で1日平均11.5g減った。一方でノンアルコール飲料を1日平均で約31.4g飲むようになった。提供をやめた8週間後も飲酒量減少は続いていた。

純アルコール量で1日平均11.5g減った。一方でノンアルコール飲料を1日平均で約31.4g飲むようになった。提供をやめた8週間後も飲酒量減少は続いていた。

純アルコール量で1日平均11.5g減った。一方でノンアルコール飲料を1日平均で約31.4g飲むようになった。提供をやめた8週間後も飲酒量減少は続いていた。

純アルコール量で1日平均11.5g減った。一方でノンアルコール飲料を1日平均で約31.4g飲むようになった。提供をやめた8週間後も飲酒量減少は続いていた。

純アルコール量で1日平均11.5g減った。一方でノンアルコール飲料を1日平均で約31.4g飲むようになった。提供をやめた8週間後も飲酒量減少は続いていた。

純アルコール量で1日平均11.5g減った。一方でノンアルコール飲料を1日平均で約31.4g飲むようになった。提供をやめた8週間後も飲酒量減少は続いていた。

ノンアルで飲酒減る 性差考えた対策必要

たはビール中瓶1本に相当する。

実験では、応募者125人(男性54人、女性69人、平均年齢47.5歳)を無作為に2グループに分け、片方だけノンアルコール飲料を4週間ごとに計3回、1回当たりに最大72本(1本350ml)

たはビール中瓶1本に相当する。

実験では、応募者125人(男性54人、女性69人、平均年齢47.5歳)を無作為に2グループに分け、片方だけノンアルコール飲料を4週間ごとに計3回、1回当たりに最大72本(1本350ml)

たはビール中瓶1本に相当する。

実験では、応募者125人(男性54人、女性69人、平均年齢47.5歳)を無作為に2グループに分け、片方だけノンアルコール飲料を4週間ごとに計3回、1回当たりに最大72本(1本350ml)

たはビール中瓶1本に相当する。

実験結果のイメージ

取材を基に作成



飲酒日の飲酒量が減少

(ノンアル飲料をアルコール飲料と併用して摂取することが多い)



飲酒頻度が減少

(ノンアル飲料のみを摂取することが多い)

手紙

現在の私には妻と4歳の息子がいて、夫婦共働きの家で家事育児を分担しています。結婚や出産のタイミングで初めて「自分(も)家事をやらないといけないのか」という壁に向き合う方も世の中にはおられると思います。



慶應義塾幼稚舎教諭 須黒達巳さん

家で延々と一人でゲームをしていたりもありました。某弾幕シューティングゲームにはまり、朝10時ごろ起きてゲームを始め、「もう2時だ」と昼食の冷凍ピラフを食へ、またゲームをし、「もう2時だ」と夕食の冷凍ピラフを食べて寝る、というサイクルです。あまり規範的な学生の生活ではありませんが、今では絶対できない時間の使い方で、それも輝かしく思い出されます。

一人暮らしの極意

一人暮らしの極意は本人提供)

では、学生生活を巡る他の相談口や生活上の注意事項が紹介されており、担当者は「こちらも参考にしてほしい」と話した。

田中 グランプリ・ポルトガルで銅

世界選手権への弾みに

ポルトガルのオデイベラスで1月26〜28日にグランプリ・ポルトガル大会が開かれ、男子73kg級で田中龍雅(体専2年)が銅メダルを獲得した。女子78kg超級に出場した米川明穂(令和5年度体育専門学群卒)は2回戦で敗退した。(横山心咲)



柔道

で技ありを奪い、合わせ技で一本勝ちした。続く2回戦は延長戦となったが、先に相手が指導3回を受け、田中が反則勝ちした。3回戦は2回戦の疲れが残ったまま試合に臨み、再び延長戦へもつれ込んだ。延長戦では開始2分46秒に捨身技の隅返で田中が技ありを奪い、優勢勝ちした。

準決勝の相手はサルバドル・カセスロカ(スペイン)。試合開始1分過ぎ、畳でうつ伏せになったところを返され、寝技の横四方固で一本を奪われた。次に戦う時は、寝技に持ち込ませないよう立ち技で勝負したい」と悔しがった。



3位決定戦でキム・チョルグアンに一本勝ちを決める田中=国際柔道連盟提供

「フレッシュリーグ」開催

球春告げる交流戦

筑波大など茨城県内の大学野球部と東京六大学野球連盟所属の野球部などが対戦する「第1回大学野球フレッシュリーグin茨城」(同実行委員会主催)が3月22〜24日、茨城県内4球場で開催された。地域交流プログラムとして大学チームと県内八つの高校チームとの交流試合や中学生を対象にした野球教室も開かれた。来年以降も開催される予定という。(川上真生)

野球

参加大学は計9校。県内からは筑波大、常磐大、流通経済大、日本ウェルネススポーツ大が、東京六大学野球の次世代主力選手育成を目的とした大会から応援義塾大、東京



試合後の野球教室で交流する大学生と高校生ら=硬式野球部提供

大、法政大、立教大が参加し、栃木県の白鷲大も加わった。BCリーグの茨城アストロプラネッツも参戦した。大学野球の次世代主力選手育成を目的とした大会

で、各大学とも新2、3年生を主体に戦った。筑波大は期間中、常磐大、戸塚高校とも対戦した。結果は10-0(6回コールド)、3-2だった。23日の試合後は、各球場

AS 佐藤 五輪出場権に貢献

飛込 榎本 連続出場内定

世界水泳



メダルを手に笑顔を見せる佐藤=本人提供

世界選手権がカタール・ドーハで2月に開かれ、筑波大の佐藤友花(体専4年)がアーティスティックスイミング(AS)の日本代表メンバーとして出場した。日本チームはフリールーティン(FR)で2位、テクニカルルーティン(TR)で3位、アクロバティックルーティン(AR)で7位となり、3種目総合で競うパリ五輪出場権を獲得した。また、女子3人飛込板飛込で榎本遼香(体育P後期3年)が11位に入り、パリ五輪代表に内定した。東京五輪に続き、2大会連続出場となる。(山本貴世II国際総合学類2年)

水泳競技

判定が出て大きく減点された。日本チームは7位発進となった。しかし、続くTRでは275.877点

後のFR決勝では「チェス」をテーマに演技を披露した。キレのある足技などで駒が盤上を動く様子を表し、315.229点で銀メダルを獲得した。3種目の合計点は中国、米国、スペインに次いで4位で、上位5枠(既に大陸枠で出場権を得ている国を除く)に与えられるパリ五輪出場権を獲得した。

佐藤は「3度目の世界選手権出場だったが、五輪出場権がかり、今までになく緊張した。演技の難易度は他国より低かったが、日本の持ち味である正確性を発揮できた」と語った。女子3人飛込板飛込に出場した榎本は、準決勝で8位となり、上位12人による決勝に進出。パリ五輪出場枠もこの大会の上位12人に与えられるため、この時点でパリ五輪出場が事実上内定した。決勝は265.20点で11位だった。

元Jリーグ VS 蹴球部

キッズイベントも

【筑波大学第一サッカー場で山本貴世II国際総合学類2年、写真も】元Jリーガーたちが2月12日、筑波大学第一サッカー場で蹴球部と対戦した。また、合わせてサッカー教室などのキッズイベントも開かれ、家族連れ約2000人が訪れた。

サッカー

イベントは、引退したアスリートのセカンドキャリアとしての活躍や技術を伝え、アスリートを目指す子供たちを後押しする「アクトプロジェクト」の一環で、元Jリーガーの加藤大志さんが主催した。当日は元日本代表の巻誠一郎さんやスポーツキャスターとしても活躍中の水内猛さんなど元Jリーガー20人が参加した。蹴球部との試合前にサッカー教室が開かれ、元J



激しい攻防を見せる蹴球部員と元Jリーガー(2月12日、筑波大学第一サッカー場で)

手たちは事前募集したエスコートキッズと一緒にピッチに入場した。第1試合、筑波大は3年生主体の布陣で臨み、残り10分を切ったところで森田雄大(体専4年)が右サイドバックからシュートを決めて1-0で勝利した。第2試合では両者メンバを入れ替え、筑波大は1年生を中心とした構成で

点。そのまま元Jリーガーの反撃を許さず、3-0で2勝目を挙げた。試合の間には、元Jリーガーが引退後の活動について語るトークコーナーが設けられた。試合後は元Jリーガーと子供たちが組んでミニゲームが行われ、会場は笑顔と声援であふれた。茨城県龍ケ崎市から参加

加藤、小野塚がU20強化選手

インカレ 女子リレー優勝

筑波大オリエンテリング部の加藤賢斗(資源2年)と小野塚智美(社会学2年)が今年1月、日本オリエンテリング協会からU20(20歳以下)ジュニア強化選手に指定された。同協会から国際大会やコーチングに関する情報が提供されるようになり、成績に応じて国内外の主要大会への出場も可能となる。(横山心咲)

オリエンテリング

同協会は2022年4月以降の国内主要大会での成績を基に、加藤と小野塚を含む10人をU20強化選手に指定した。2人は筑波大入学生後にオリエンテリングを始めた。加藤は昨年10月の日本学生選手権(インカレ)で、強化選手指定について、加藤は「練習で気づいたことをメモに残し、次に生かすよう心掛けてきた。指定

を受け、より競技力が上がるようになった」と語った。小野塚は「自分を成長させる糧にしたい。U20の世界大会やインカレ入賞を目指して練習を重ねていく」と意気込んだ。日本学生選手権(インカレ)のミドル、ディスタンス、リレー部門が3月16、17日に三河高原牧場(愛知県豊田)で開催された。16日のミドル女子エリートクラスで山崎葵(資源3年)が優勝、樋口佳那(資源4年)が3位に入った。17日のリレー女子エリートクラスでは小野塚、山崎樋口の3人でチームを組んだ筑波大が優勝した。

昨年度の反省を胸に、更なる高みへ 運動部 新主将インタビュー

大学でトップクラスのアスリートが多く在学する筑波大。その活躍は、キャンパスにも活気や希望をもたらしてくれる。昨年度に全日本大学選手権(インカレ)や強豪ひしめく関東大会を制した四つの部活の新主将に、新たなチーム作りの現状や今シーズンの抱負について聞いた。

**女子バレーボール部主将
中村悠(体専4年)**

昨シーズンは関東大学春季リーグ、同秋季リーグ、インカレで優勝し、3冠となったが、東日本インカレは準優勝にとどまり、悔しい思いを味わった。

今シーズンのチームスローガンは「克己奮闘」。自分自身に打ち勝ち、力の限りの戦い続けるという意味だ。

身長があり、攻撃力も高かった先輩たちが卒業したことで、今年はブロックやアタックなどの「高さ」が落ちる。だからこそ攻守ともに粘り強さを意識したブレイクスタイルにいく必要がある。

レシーブやブロックなどディフェンス面の底上げはもちろん、攻撃面においても

も新入生3人を含め、全員が多様な攻撃ができるよう、プレイングでも精神面でチームの土台となることを意識している。



昨年6月の東日本インカレ決勝で日本体育大の攻撃をレシーブで受ける中村

チームの土台になる

**柔道部男子主将
田中航太(体専4年)**

昨年は全日本学生体重別団体優勝大会で10年ぶり4度目の優勝を果たした。だが、同じ団体戦でも全日本学生優勝大会は5位に終わった。今年はこの大会

でも、自分自身の課題を見つめ、競技力向上を目指して自主的に練習する。全体練習以外の時間にベンチプレスや走り込みをする選手が

多い。体のケアを考え、整骨院にある酸素カプセルやジャグジーを利用して疲労回復に努めたりもする。

上級生が自主的に行動し、それを下級生が手本とすることで、伝統が継ぐ主将としても率先して稽古に打ち込む姿勢を示していく。

また、個人戦でも結果を残すことで、チームを引っ張りたい。

筑波大を練習拠点とし、部員と一緒に汗を流している東京五輪男子81kg級の金メダリスト(パリ五輪出場内定)、永瀬貴規(旭化成、平成27年度体育



昨年10月の全日本学生体重別選手権決勝で、果敢に技を仕掛ける田中(左)

シーズン初対戦するが、勝利を収めてチームに勢いをつけたい。(聞き手・山本貴世、写真は全日本大学バレーボール連盟提供)

**バドミントン部女子主将
神山和奏(体専3年)**

昨シーズンはインカレ団体戦で2年ぶりに優勝することができた。今シーズンは団体戦連覇が目標だ。

新チームでは広瀬未来(同3年)と共同で主将を務めている。昨シーズンは主将を7人置いた。主将を複数にすることで、チームのメンバー全員が主体性を

持って活動することができ、練習プログラムも、監督からの指示ではなく、選手同士が話し合いながら決めることが多い。それが質の高い練習につながり、個々の選手の実力も向上する。

団体戦はシングルスとペアの組み合わせで戦うが、シングルの競技力向上が連覇には欠かせない。



インカレ個人戦でベスト8以上の結果を残せば、バドミントンの日本一決定戦、全日本総合選手権の予選や本戦に出場できる。それを目標とする選手も多い。個人戦での活躍がチーム内の競争を促進する。その結果、チームの強化にもつながると期待している。

サッカー

186センチと大柄ながらも巧みなボールコントロールと、チャンスをつかまない決定力を兼ね備えたストライカー。昨年度に中国・杭州で開催されたアジア大会では、韓国などの強豪を相手に、チーム最年少で最多の4得点を挙げた。今、同世代で最も活躍が期待されるFWの一人だ。

横浜市出身。サッカー好きの父の影響で5歳で競技を始め、小学生になると地元のSCHフットボールクラブでサッカー漬けの日々を送った。

中学1年時、J1横浜F・マリノスのジュニアユースから声がかかった。

高校進学後はマリノスのユースチームに昇格。Jリーグのユースチームとトップレベルの高校チームが参加するU18プレミアリーグ・イーストを舞台に戦った。

2年時に得点ランキングで2位となったが、むしろ「トップに立てず悔しかった」という。リベ

ンズを狙った3年時は21ゴールを挙げ、見事得点王に輝いた。

しかし、3年時秋のマリノスとの面談では「トップチームに昇格しても、即戦力ではない」と伝えられた。自身もフットボールの練習に参加す

和5年度体育専門学群卒など4年生の活躍が優勝の原動力となった。その穴を埋めるためにも、チャレンジャー精神を持ち、勝ちに對する貪欲さをチーム全員で表現したい。(聞き手・川上真生)

**剣道部男子主将
平尾尚武(体専4年)**

団体戦で争う昨年9月の関東学生優勝大会で4連覇を果たしたが、同じく団体戦で争う昨年11月の全日本学生優勝大会(インカレ)は3位に終わった。昨年度の反省は一人一人が試合に勝たれたいと思っ

ていても、チーム全体が日本一に向けて意識を持ってまとまることが大事だ。

練習に全力で取り組むとき、男女合わせて約50人が

直したいと考えた。入学してサッカーに対する意識が変わった。体育系の教員の研究に協力する過程で、トレーニングに「質」を求める

に、当時主将だった3学年上の山内翔(ウィッセル神戸、令和5年度体育専門学群卒)に「質を取れないものは何も残らないよ」

と教わった。昨年度の反省は一人一人が試合に勝たれたいと思っ

ていても、チーム全体が日本一に向けて意識を持ってまとまることが大事だ。

練習に全力で取り組むとき、男女合わせて約50人が

直したいと考えた。入学してサッカーに対する意識が変わった。体育系の教員の研究に協力する過程で、トレーニングに「質」を求める

に、当時主将だった3学年上の山内翔(ウィッセル神戸、令和5年度体育専門学群卒)に「質を取れないものは何も残らないよ」

と教わった。昨年度の反省は一人一人が試合に勝たれたいと思っ

ていても、チーム全体が日本一に向けて意識を持ってまとまることが大事だ。

練習に全力で取り組むとき、男女合わせて約50人が

直したいと考えた。入学してサッカーに対する意識が変わった。体育系の教員の研究に協力する過程で、トレーニングに「質」を求める

に、当時主将だった3学年上の山内翔(ウィッセル神戸、令和5年度体育専門学群卒)に「質を取れないものは何も残らないよ」と教わった。昨年度の反省は一人一人が試合に勝たれたいと思っ

あるべき姿を4年生が示す

所属し、そのうち17人が4年生だ。彼らには「4年生が一枚岩となり、下級生に目指すべき姿を見せよう」と話している。そうしなければ、自ずとチームにまとまりが出てくるだろう。

自分自身は団体戦に加え、個人戦でも日本一を目指したい。インカレの個人戦優勝だけではなく、社会人も参加する全日本選手権での優勝が目標だ。

自分は身長が168センチと小さく、大きい相手との対戦では、体格差で不利になることがある。試合中は足を止めずに動き続け、相手の隙を突く、細かな技術を磨きたい。(聞き手・青野心平、写真は剣道部提供)

新チームには1年生を除き、男女合わせて約50人が練習に全力で取り組む

直したいと考えた。入学してサッカーに対する意識が変わった。体育系の教員の研究に協力する過程で、トレーニングに「質」を求める

に、当時主将だった3学年上の山内翔(ウィッセル神戸、令和5年度体育専門学群卒)に「質を取れないものは何も残らないよ」

と教わった。昨年度の反省は一人一人が試合に勝たれたいと思っ

ていても、チーム全体が日本一に向けて意識を持ってまとまることが大事だ。

練習に全力で取り組むとき、男女合わせて約50人が

直したいと考えた。入学してサッカーに対する意識が変わった。体育系の教員の研究に協力する過程で、トレーニングに「質」を求める

に、当時主将だった3学年上の山内翔(ウィッセル神戸、令和5年度体育専門学群卒)に「質を取れないものは何も残らないよ」

と教わった。昨年度の反省は一人一人が試合に勝たれたいと思っ

ていても、チーム全体が日本一に向けて意識を持ってまとまることが大事だ。

練習に全力で取り組むとき、男女合わせて約50人が

直したいと考えた。入学してサッカーに対する意識が変わった。体育系の教員の研究に協力する過程で、トレーニングに「質」を求める

に、当時主将だった3学年上の山内翔(ウィッセル神戸、令和5年度体育専門学群卒)に「質を取れないものは何も残らないよ」

と教わった。昨年度の反省は一人一人が試合に勝たれたいと思っ

次世代担うストライカー 内野航太郎(体専2年)

憧れる二番煎じ(英語)プレミアリーグ・フライオン、令和元年度体育専門学群卒)が学んだ筑波大で、一度自分を見つめようになった。

また、得点以外でチームにどう貢献するかも考えるようになった。得点に貢献したりできるような姿に、今後注目したい。(山本貴世、国際総合学類2年、写真は本人提供)

また、代表活動でチームを離れる期間が長かったが、昨年度の関東大学リーグでは得点ランキング3位に食い込んだ。当面の目標は、今季の関東大学リーグで得点王になることと今夏のパリ五輪の代表メンバーに選出されることだ。世界を見据えて日々躍進し続ける姿に、今後注目したい。(山本貴世、国際総合学類2年、写真は本人提供)

チームへの貢献常に



次世代担うストライカー
内野航太郎(体専2年)

また、代表活動でチームを離れる期間が長かったが、昨年度の関東大学リーグでは得点ランキング3位に食い込んだ。当面の目標は、今季の関東大学リーグで得点王になることと今夏のパリ五輪の代表メンバーに選出されることだ。世界を見据えて日々躍進し続ける姿に、今後注目したい。(山本貴世、国際総合学類2年、写真は本人提供)

Who's Who?

「つくばズ」運営者

齋藤聖 さん (体専4年)

鎌田晃介 さん (体専4年)



これまで「つくばグルメ(現つくばズ)」としてつくばの飲食店を紹介してきた齋藤さん(右)と鎌田さん=本人提供

つくばの魅力を全国の人々に知ってもらいたい。昨年5月、つくば市とその周辺でグルメ情報を発信するインスタグラムアカウント「つくばグルメ」(現「つくばズ」)を2人で開設。1年足らずで4万6000人(3月29日現在)のフォロワーがつく人気コンテンツに育っていった。

つくばの魅力発信

「みんなが好きと言える街に」

「みんなが好きと言える街に」元の人にもお勧め「また行きたい」なさまざまな観点から評価を加えている点も、利用目的に応じた店舗探しに役立つ。「連日、ほぼ外食をしていたので、気づいたら5時過ぎていた」と2人は笑う。

「つくばを盛り上げ、より活気ある街にする。そのためには、市民がつくばの魅力に気づく必要がある。つくばズはその役に立ちたい」と2人は口をそろえて語った。

「移行先の学類はどうか?。総合学域群所属だと知った取材先から繰り返して聞かれ、新しい所属での日々が始まるのだと実感しました。年度が替わり、多くの人が新生活に胸を膨らませているでしょう▼特集では希望を掲げ、筑波大に入学した新入生に向け、充実した学生生活を送るためのアドバイスを教員や在学生から寄せてもらいました(8、9面)。筑波大近辺の情報満載のつくばマップ(2024(6、7面))も新生活の手助けにしてほしい▼筑波大ではロシアに

「移行先の学類はどうか?。総合学域群所属だと知った取材先から繰り返して聞かれ、新しい所属での日々が始まるのだと実感しました。年度が替わり、多くの人が新生活に胸を膨らませているでしょう▼特集では希望を掲げ、筑波大に入学した新入生に向け、充実した学生生活を送るためのアドバイスを教員や在学生から寄せてもらいました(8、9面)。筑波大近辺の情報満載のつくばマップ(2024(6、7面))も新生活の手助けにしてほしい▼筑波大ではロシアに

「移行先の学類はどうか?。総合学域群所属だと知った取材先から繰り返して聞かれ、新しい所属での日々が始まるのだと実感しました。年度が替わり、多くの人が新生活に胸を膨らませているでしょう▼特集では希望を掲げ、筑波大に入学した新入生に向け、充実した学生生活を送るためのアドバイスを教員や在学生から寄せてもらいました(8、9面)。筑波大近辺の情報満載のつくばマップ(2024(6、7面))も新生活の手助けにしてほしい▼筑波大ではロシアに

JRA初の女性調教師誕生

馬術部出身の前川恭子さん

筑波大馬術部出身の前川恭子さん(46)は平成12年度生物資源学類卒Ⅱが昨年12月、日本中央競馬会(JRA)の新規調教師免許試験に合格した。JRAの調教師は約200人いるが、女性の合格者は初めて。来春に自身の厩舎開設を目指して準備中の前川さんは「競馬業界の働き手は減少しているが、女性に働きやすい環境は整備されつつある。男女問わず多くの人に馬を育てる仕事に興味を持ってほしい」と話している。(川上真生)



馬の世話をしている前川さん=本人提供

調教師は馬主から預かった競走馬を管理、調教し、競馬に出走できる状態に仕上げる職業だ。千葉県富里市出身。古くから馬の放牧が盛んな地域で、現在も牧場や乗馬クラブが多い。前川さんは小学5年生で乗馬を始め、週末に乗馬クラブに通う生活を高校生まで続けた。

馬を良い状態に仕上げるためには小さな変化に対して早めに対処することが重要だと学んだ。そして、「働きやすい厩舎をつくり、勝てる馬を自ら輩出したい」と調教師になることを決意。結婚、出産を経て育児も一段落した18年から本格的に勉強を始め、5度目の挑戦で手にした合格だった。

現在は自身の厩舎開設に向け、先輩調教師の下で研修しながら、馬主との関係作りなどに取り組む技術調教師として活動中だ。今年2月にはサウジアラビア遠征も経験した。「馬や従業員を預かる責任を感じている。大きなレースで勝てる馬を育成し、競馬界を盛り上げていきたい」と意気込んでいる。



追跡「結」プロジェクト

人々を「結ぶ」超小型衛星

学生主体で開発進む



回路をはんだ付けするプロジェクトメンバー(3月22日、総合研究棟Bで)

国際宇宙ステーション(ISS)から超小型衛星を放出し、新たな軌道制御や衛星の異常検知につながる技術を実証する。学生を中心に人工衛星開発に取り組む筑波大の「結」プロジェクトチームが東京都立大宇宙システム研究室の学生たちと共同で、今年2月にはサウジアラビア遠征も経験した。「馬や従業員を預かる責任を感じている。大きなレースで勝てる馬を育成し、競馬界を盛り上げていきたい」と意気込んでいる。

「結」は亀田敏弘教授(システム情報系)が2011年、システム情報系宇宙開発工学学域のプロジェクトとして立ち上げた。筑波大生なら誰でも参加できる。亀田教授は「大学受験までは個人競争を経験することが多いが、社会に出たらチームで協力してものを作る心持ちが必要だ」と話し、「一人一人を結ぶこと」を「結」の中心に位置づけてきた。今回は、筑波大という枠組みを超えた結びつきの実現を目指す。(青野心平Ⅱ 物理学類2年、写真も)

編集後記

「移行先の学類はどうか?。総合学域群所属だと知った取材先から繰り返して聞かれ、新しい所属での日々が始まるのだと実感しました。年度が替わり、多くの人が新生活に胸を膨らませているでしょう▼特集では希望を掲げ、筑波大に入学した新入生に向け、充実した学生生活を送るためのアドバイスを教員や在学生から寄せてもらいました(8、9面)。筑波大近辺の情報満載のつくばマップ(2024(6、7面))も新生活の手助けにしてほしい▼筑波大ではロシアに

「移行先の学類はどうか?。総合学域群所属だと知った取材先から繰り返して聞かれ、新しい所属での日々が始まるのだと実感しました。年度が替わり、多くの人が新生活に胸を膨らませているでしょう▼特集では希望を掲げ、筑波大に入学した新入生に向け、充実した学生生活を送るためのアドバイスを教員や在学生から寄せてもらいました(8、9面)。筑波大近辺の情報満載のつくばマップ(2024(6、7面))も新生活の手助けにしてほしい▼筑波大ではロシアに

発行所 筑波大学 印刷 リーフコム

次号は 6月12日(水) 発行予定です